

大牟田市立倉永小学校

1 本校のESDの特徴

倉永小学校区は、豊かな自然に恵まれ、福祉施設や歴史的な文化財、伝統工芸等、文化施設が数多く存在している。地域のつながりが強く公民館活動も盛んである。他の地域に比べて三世帯同居が多く、教育に関しても熱心である。

本校では、平成26年度に大牟田文化会館で行われた大牟田市ユネスコスクール子どもサミットで5年生が「倉永ふるさと再発見」(福祉・ボランティア)の発表を行った。また、2月に行った学習発表会でもその取り組みを紹介し、全校児童のESDへの意識を高めた。本プロジェクトでは、校区にある「ひと・もの・こと」とのつながりを丁寧に探っていき、様々な史跡と出会い、人と出会い、校区のよさや地域の人たちのがんばりに目を向けることでこれまで見過ごしてきた自分たちの町の大切な文化財を発見し、自分自身の参画のあり方を考えることができるようする。

これらの取組を通して、自分たちの住んでいる地域に誇りを持ち、町の発展に尽力している人々から学び、ともによりよい地域になるよう創造できる児童の育成を図る。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

<プロジェクト名「地球みんなのためのプログラム」>

- (1) 1年生「みんなみんな大好きだよ」【福祉・ボランティア】(生活科 9月～10月 10時間)
- (2) 2年生「レッツゴー!町たんけん」【環境】(生活科 4月～5月 12時間)
- (3) 3年生「ワクワクドキドキお話探偵団」【読書活動】(総合的な学習の時間 9月～3月 49時間)
- (4) 4年生「ゴミ減量大作戦」【環境】(総合的な学習の時間 4月～7月 24時間)
「地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々」【福祉】(総合的な学習の時間 10月～3月 36時間)
「夢に向かって」【キャリア教育】(総合的な学習の時間 9月～10月 10時間)
- (5) 5年生「倉永ふるさと再発見」【福祉・環境】(総合的な学習の時間 10月～12月 16時間)
「6年生に向けてゴー」【キャリア教育】(総合的な学習の時間 1月～3月 18時間)
- (6) 6年生「校区の高齢者の思いや願い」【福祉】(総合的な学習の時間 6月～7月 24時間)
「未来に向かって」【キャリア教育】(総合的な学習の時間 1月～3月 23時間)

3 特徴的な活動事例

<福祉・環境教育 5年生総合的な学習の時間「倉永ふるさと再発見」(16時間)>

(1) 目標

○校区史跡の歴史や働く人々との思いや願いについて調べ、社会福祉協議会の人たちの話を聞くことを通して、自分たちの校区を住みやすい町にする活動を考え、取り組むことができる。

(2) 計画

- ①つかむ：倉永校区の素晴らしいところ(ひと・もの)について話し合う。
- ②追求する：倉永校区の史跡や校区にある店について調べたり、校区社会福祉協議会の方の話を聞いて



たりする。

③生かす：自分たちが校区を住みやすい町にするための活動に取り組み、学習で学んだことを発表・発信する。

(3) 活動の実際

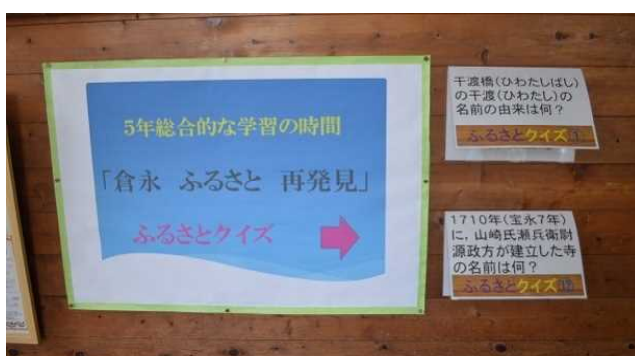
○校区の史跡（いぼ観音、諏訪神社、法雲寺、龍山書院等）について調べた後に、GTの方々と実際に見学に行った。5年生児童が調べたことに付け加えをGTの方々がしてくださり、さらに歴史を受け継ごうとする人たちの思いや願いを知ることができた。



○学習発信の場として、縦割りグループを使って、倉永スタンプラリーと組み合わせて、校区の史跡巡りを行った。各グループには、教師や保護者ボランティア、地域の方々につき、6年生が事前に考えたコースを回った。史跡に着くと、5年生の児童が説明を行い、付け加え等を地域の方々からしていただいた。子どもたちは、楽しみながら史跡を回り、新しく知ったこともたくさんあったようだ。そのことをクイズ形式として発信できた。



○校区の史跡巡り「倉永スタンプラリー」を通して、史跡の歴史はもちろんのこと、それに携わっている人々の思いや願い、そして、これから先、住みやすい町づくりをするために、自分たちがしなければならないことを考えることができた。



4 本年度の成果と課題

○成果

- ・学習を通して、地域や保護者、子どもたち同士等の「つながり」がさらに深まった。
- ・発信の場を設定したことで、5年生の子どもたちも充実した学習ができた。

○課題

- ・ESDの取り組みを今以上の地域・保護者の方々に広め、ともに取り組む活動を計画・実施していく。

